

第55回
通常総代会 特別号



第55回通常総代会を開催しました。

6月13日(木)、第55回通常総代会を開催し、第1号から第5号までのすべての議案が賛成多数で可決されました。

総代会とは、

生協の運営に関わる重要事項を決定する最高の**意思決定機関**です。毎年6月に開催され、組合員を代表する「総代」が参加し、京都生協の1年の予算や年間の活動方針、役員を選出などについて確認します。今総代会では、229件の「私の想い」が寄せられ、7人の総代が発言しました。

宅配

▶eフレンズ注文アプリ「ニコリエ」をリリースしました。



▶生産量が限定された品種を中心とした果物の頒布会企画に取り組みました。



店舗

▶チラシ情報やお得情報をお知らせする「店舗LINE@」を開始しました。



◀お買物サポートカーは行政と連携するなど、利用の輪がひろがりました。

食の安全・安心の確保

▶食の安全に関する学習会を各地で行ない、多数の参加がありました。
▶機関紙「コーポロ」や宅配カタログなどで、点検・検査のお知らせや食の安全のとりくみを定期的にお知らせしました。



福祉

「コープケアセンター五条御前」を開設し、居宅介護支援事業、続いて小規模多機能型居宅介護事業を開始しました。



2018年度

取り組んだこと

特徴的なとりくみ

総代会の開会にあたっては、京都府や京都市からご来賓のご挨拶をいただきました。

京都府 府民環境部長 大谷 学 様



京都市 文化市民局 暮らし安全推進部長 並川 哲夫 様



組合員のくらしに役立ち続ける存在であるために

理事長 畑 忠男

2019年、京都生協は創立55周年を迎えます。「平和とよりよき生活のために」・頼もしい隣人たらん」を合言葉にスタートし、54万人の京都府民が参加する生協へと成長しました。これまで共に歩んできた組合員の皆さま、行政はじめ生産者や取引先など、多くの関係者の皆さまに感謝を申し上げます。今、世界では気候変動による災害の増加、豊かな森林や海の破壊、飢餓や貧困などの問題を抱えています。一方で、国連を中心に持続可能な社会の実現に向けた大きな動きであるSDGs(持続可能な開発目標)のとりくみも進もうとしています。時代や社会が大きく変化しようとしています。時代が変わろうとも、「わたしのくらし わたしたちの地域に 協同がはぐくむ 安心と笑顔」という新21世紀ビジョンで掲げている基本理念は変わることはないことを確信しています。2019年度も今のくらしを支えるだけでなく、子や孫の世代まで思いを馳せて、未来につながる視点をもって事業や活動をすすめて参ります。



宅配

▶子育て層の個配手数料を一部改定します。

京都生協キャラクター

きょうまる



◀「コープでんき」で、より環境に配慮した「ゼロでんき」を新たに導入します。



店舗

▶新店「コープ山科新十条」をオープンし、併設の宅配事業所と連携したとりくみをすすめます。
・お買物サポートカーの展開店舗を広げます。



エシカル消費の推進

・KOOP商品のメーカーや産直産地との連携を強め、産地消費を推進します。

▶エシカル商品の普及に取り組みます。



社会的な役割

・返品ルールを守る呼びかけなどを通じ、事業での食品ロス削減に取り組みます。

・フードドライブ実施店舗を広げます。▲



「2018年度ユニセフお年玉募金贈呈式」を開催しました

2019年2月17日～23日まで開催された「ユニセフ・ミャンマースタディツアー」に、代表派遣として参加した舞鶴市の小畑 千恵さんより、京都綾部ユニセフ協会副会長の西村すみさんへ目録を贈呈しました。2018年度のユニセフお年玉募金は合計414万8159円となりました。ユニセフお年玉募金のうち300万円はミャンマー指定募金「女性と子どものための栄養支援」に、残りはユニセフ一般募金として役立てます。
*ユニセフ・ミャンマースタディツアーの報告は、「コーポロ」9月号に掲載予定です。





今総代会には229件の発言用紙が寄せられ 7人の総代が壇上で発言しました。

まとめ報告(要旨)
専務理事 大島芳和
私の想いとして寄せられた組合員の声に代えて

「ニコリエ」に期待

東ブロック 若松成美さん
ニコリエをリリースしてちょうど1年が経ちました。この3月に、注文番号での注文ができるように改善し、7月ごろにはログインの保持期間を延長します。また今後は、ニコリエだけでなくフレンドも改善していきます。秋ごろには「3日分の夕食の献立セット」を企画予定です。ぜひ皆さん、楽しく便利に使ってください。

「宇川地区唯一のスーパーがなくなった」

西ブロック 高岡和美さん
地域の食品スーパーがなくなっているのが苦勞や、町を挙げての住民のとりくみについてお話しくださいました。京都市は今後も人口が減少し、さらに買い物困難な地域が増えていくことが想定され、重要な行政課題になっています。しかし京都生協の宅配事業は、他社にはない社会インフラとしての役割を果たしています。これを地域隔々にまで広げるために、見やすく注文しやすい媒体づくりをコープさんき事業連合と共にすすめます。また、組合員がお互いに助け合いながら利用をすすめていけるような工夫を続けていきます。

「未来世代のために、コープでんきの利用の広がりを願います」

西ブロック 橋本博子さん
地球環境が少しでも良い方向へ進むことを願って、その一つの方策としてコープでんきを広げようというご意見でした。コープでんきにはまず、使用量に合わせた2つのプランがあります。どちらも大手電力会社の基本料金よりも安く利用でき、FIT電気比率は35.8%です。そして、今年登場した「ゼロでんき」は基本料金は大手電力会社と同じですが、FIT電気比率100%で、Jクレジット利用により二酸化炭素の排出量をゼロとみなせるものです。ぜひ、みなさんのご家庭の状況に応じて選択してください。

「コープケアセンター五条御前がきっかけに…」

北ブロック 服部ゆり子さん
「コープケアセンター五条御前」の内覧会がきっかけになり、おじいさんの施設利用が決まって、おじいさんとお母さんともに喜んでおられることを発言いただき、嬉しく思いました。福祉事業はこの間お知らせしてきましたように、状況的には非常に厳しく推移していますが、「コープケアセンター五条御前」がひとつの起点となって、損益構造の転換を図っていけるよう努力してまいります。

「フオリティ商品」

南ブロック 岡ルミさん
コープフオリティ「トマトと5種の野菜入りケチャップ」がとてもお気に入りです。素材にこだわったマヨネーズもあればいいなというお話でした。コープのお店では通常のマヨネーズ以外に、「米油を使ったマヨネーズ」という商品を取り扱っています。うま味調味料不使用で、りんご酢を使用しているのも、もしかしたらご指摘の商品の味に近いかもしれません。たくさんの方の「コープフオリティ」や「コープ商品」があります。ぜひ、お気に入りの商品を見つけてみてください。

「エンカル消費について」

西ブロック 谷口直美さん
コアノンロールの購入がアンゴラの子どもの未来につながる、そんな願いを込めて、寄付に協力し続けたいというお話でした。これは「コアノン スマイルスクールプロジェクト」という取り組みです。コアノンロール1パックを利用すると、1円がユニセフを通じて寄付されます。2010年のスタートからこれまでに集まった寄付は、小学校の給水施設の建築、衛生教育の支援などに活用されています。京都生協は引き続き、この「誰かの笑顔につながるお買い物」、エンカル消費を推進します。ぜひ毎日のお買い物を通じて、ご参加いただければと思います。

「沖縄戦跡ツアーに参加して、親子で感じた大切なこと」

西ブロック 木村美穂さん
ツアーで実際に戦跡を巡り、子どもさんたちも深く心に響くものがあつたこと、全国の組合員や子ども同士の交流について発言いただきました。京都生協では、平和に関する様々な学習会や取り組みがあります。ぜひ親子で参加いただき、どう感じたかお互いに語り合ってみる、そんな輪が広がればと願います。また、こうした取り組みを積み重ねて、今年度のヒバクシャ国際署名10万人突破を目指しましょう。よろしくお願いたします。

最後に、これからも組合員のくらしに役立ち続けられるよう、議案のとりくみを一つひとつ確実にすすめるのと同時に、誰一人取り残さない社会「コープSDGs」行動宣言の実現に向かって、より便利に効率的な事業を追求していきます。

2019年が、組合員にとっても、生産者やメーカーの皆さんにとっても、そして、職員にとってもよりよい1年になるように、努力を積み重ねてまいります。

議案採決結果

議案	反対	保留	賛成
第1号 2018年度 事業報告、決算関係書類承認の件	5	9	多数
第2号 2019年度 事業計画および予算決定の件	5	12	多数
第3号 第55～56期 役員選任の件	4	9	多数

総代出席状況

本人出席 314 委任状 1 書面議決 184
合計 499 (採決数は議長 2人を除く)

議案	反対	保留	賛成
第4号 役員報酬決定の件	7	28	多数
第5号 役員退職に伴う退職金支給の件	9	26	多数

すべての議案が賛成多数で可決されました
※総代出席数について、総代会当日は498人と報告していましたが、書面による出席が正しく反映されておらず、499人が正しい出席数でした。修正するとともにお詫び申し上げます。

2018年度 事業の到達

■ 総事業高 792億5994万円 (予算差+1億4994万円)

供給事業	実績	予算差	前年差
宅配事業	525億8631万円	△9568万円	+7億3633万円
店舗事業	235億1255万円	+3億55万円	+5億9423万円
葬祭事業	1億264万円	△835万円	△1063万円
供給高合計	762億151万円	+1億9651万円	+13億1993万円

・福祉事業収入
5億2599万円
(予算差△4300万円)
・その他事業収入
25億3243万円
(予算差△356万円)
※共済受託手数料や葬祭承り手数料、個配手数料などの収入

2018年度経営結果

経常剰余金	14億1167万円
特別損失	31万円
税引前当期剰余金	14億1136万円
法人税等	4億1665万円
法人税等調整額	1728万円
当期剰余金	9億7742万円
前期繰越剰余金	5328万円
当期末処分剰余金	10億3070万円

2018年度剰余金処分

法定準備金	9800万円
出資配当金	4563万円
任意積立金	8億3140万円
次期繰越剰余金	5567万円

■ 経常剰余金 14億1167万円 (予算差+6億1167万円)

※事業剰余金から事業経費・事業外収支を差し引きした金額。通常の事業活動をして最後に残った利益です。

■ 2018年度出資配当について 出資配当率 0.30%

2018年度の出資金に対する配当を年0.30% (税引き後0.239%) とすることを決定しました。本事業年度末(2019年3月20日)に出資金残高を有する組合員で、かつ、本総代会当日に在籍している組合員に対して配当します。

第55～56期 新役員が決まりました

地域区選出理事

北ブロック	東ブロック	西ブロック	南ブロック	両丹ブロック
洞井 加奈子	川瀬 和栄	杉山 康代	林 美和	小林 公子
塩見 由紀子	姜 美名	吉田 美由	平石 信子	酒井 裕子

全域区選出理事

理事長 畑 忠男	副理事長 川村 幸子	副理事長 柴田 弘美	専務理事 大島 芳和	常務理事 鯉江 賢光	常務理事 吉岡 克巳
有識 青木 美紗	有識 江頭 節子	有識 高山 一夫	有識 宮本 茂樹	有識 谷口 一宏	

監事

常勤 河野 直	有識 近藤 恭子	有識 日岡 豊子	有識 飯島 敬子	有識 神本 満男	有識 渡辺 峻
---------	----------	----------	----------	----------	---------